

神戸市立科学技術高校で出前講座

2年生 80人が組立作業などを体験 兵庫県内の高校では初の開催

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）と関西圧接業協同組合（濱野功理事長）は共同で6月13日、神戸市中央区の神戸市立科学技術高等学校で出前講座を開催し、都市工学科の2年生80人が鉄筋の組立作業や圧接作業の見学及び体験をしました。兵庫県内の高校では初めての開催となります。

開講に先立って挨拶した岩田理事長は「皆さんが将来、設計会社や建設会社に就職した時に、この出前講座で経験したことを思い出して仕事に活かしてください」と述べ、その成果に期待を寄せました。この後、午前と午後に80人の受講者を40人ずつに分けて出前講座を実施しました。

生徒たちはまず、座学で鉄筋工事の仕組みや施工手順、圧接の原理や作業方法などを学んだ後、4班に分かれて鉄筋の組立作業体験、圧接作業の見学及び体験をしました。鉄筋の組立では、試作中の3級検定モデルを教材に床配筋ら柱、梁の取り付け部分の結束作業に挑戦。生徒たちは慣れない手付きでハッカーを使いながらも、真剣な表情でプロの職人の指導を受けて結束作業に取り組んでいました。同校は、神戸市内の工業高校3校を統合・再編して平成16年に開校しました。今回の出前講座について、学校関係者は「生徒たちが実際の作業を体験することは、今後の進路選択の上でも参考になる。今後も出前講座をお願いしたい」と話しています。

今回の出前講座に参加、協力をいただいた組合関係者は次の通り。

- ・ 岩田理事長
- ・ 田中副理事長
- ・ 鎌田常任理事
- ・ 又野理事
- ・ 恵谷理事
- ・ 辻本青年部部長
- ・ 今村青年部副部長
- ・ 山村さん（関西スチールフォーム）
- ・ 橋本さん（吉岡工業）

講座状況

